



ニライの都市めざす

議会だより



町文化財指定予定のアコウの木（濱川ウガン）

'99 7月撮影

主な内容

30人以下学級の早期実現を求める

意見書

12P

スポーツ振興審議会設置GO!

5P

一般会計補正予算可決

2P

18号
'99.6月議会

6月議会で審議された議案

議案名

主な内容

- 平成10年度北谷町繰越明許費繰越計算書の報告 東部地域住環境整備計画策定業務他17件11億8105万3千円
- 平成11年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書提出 地方自治法第243条の3第2項の規定により提出
- 専決処分の承認を求めること (平成11年度北谷町老人保健特別会計補正予算) 1472万6千円追加し、歳入歳出それぞれ17億6261万2千円とした
- 固定資産評価審査委員会委員の選任 高宮城実金氏選任に同意
- 教育委員の任命 金城至佑氏任命に同意
- 北谷町下水道条例の一部を改正する条例 県内統一試験移行に伴う試験、登録規定の削除
- 中部広域市町村圏事務組合理約の変更 国の伝染病予防法に見直しに伴う (県立中部病院が第二種感染症指定医療機関に指定)
- 北谷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 応能割と応益割の平準化に向けて税率及び減額賦課基準額を改める (7割、5割、2割減額制度導入)
- 北谷町美浜地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 美浜の新たな都市計画決定に伴う建築物の用途の制限
- 北谷町スポーツ振興審議会に関する条例制定 スポーツ振興の重要事項を調査審議、答申及び建議
- 平成11年度北谷町一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ2億9917万8千円増額
- 北谷町塵芥処理車購入事業契約 (ゴミ収集車) 4トン車排気量6925cc、ダンプ、回転板式押込型、積載量2500kg、容量8.0m³、価格913万5千円
- 平成11年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ22億1641万6千円
- 浜川漁港改修事業における公有水面埋立免許の意見に関する議決 県知事から諮問があり、北谷町としては同埋め立て申請については意見がない旨を述べるもの
- 北谷小学校校舎併行防音工事の請負契約 契約金額8557万5千円 (除湿・換気設備)

陳情

- 30人以下学級の早期実現を求める要請 採択
- 30人以下学級の早期実現を求める意見書 原案可決
- 地方分権の実現に関する意見書 原案可決
- 地方分権の実現に関する決議 原案可決
- 豊かな教育を実現するための教育予算の拡充と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書 原案可決
- 少年の深夜はいかい防止宣言決議 原案可決
- 住民が安心して利用できる介護制度の実現を求める陳情 閉会中の継続審査 (文教厚生常任委員会)
- キャンプ桑江一部返還予定地 (北側部分) の返還実施計画の見直し要請について 閉会中の継続審査 (基地対策特別委員会)

一般会計

補正予算可決

二億九千九百十七万八千円増額

平成11年度予算総額は 115億1717万8千円

平成十一年六月十七日から二十八日まで北谷町議会定例会が開催され、一般会計補正予算では次の項目が審議され、全会一致で可決致しました。

風力発電事業予算



風力発電

保守点検費、総合保険料、電話回線使用料、印刷費等です。風力で発電した電気については、北谷運動公園等の公共施設で消費する。余剰電力については、沖縄電力へ売電することになっている。

介護保険事業



介護保険事業にかかる比謝川行政事務組合とのネットワーク整備経費です。

才児未滿の医療費助成事業



才児未滿健診

才児未滿の医療費助成事業準備経費です。

繰り出し金。国民健康保険特別会計の大幅な財源不足によるものです。

道路



路用地取得費、補償費、物件鑑定料等の土木事業にかかる経費です。

その他



北玉小学校耐力度調査

◎北玉小学校改築事業に関連する耐力度調査費。
◎フィッシュヤリ一ナ事業関連海外視察研修費。
◎広島、長崎への親子派遣事業に関連する平和推進費等です。

問 補正に対応する財源は?

答 美浜地域の大型店舗や住宅建設の増加による固定資産税、教育費補助金、国・県の保険基金安定負担金、特定防衛施設周辺整備調整交付金等の増額計上・上勢頭第二区画整理区域内の土地売却収入等です。

スポーツ振興審議会 設置へGO!

現在の北谷町のスポーツ人口の拡大と生活化を推進していく中で、これまでの社会体育の実績と問題点を明らかにした上で、スポーツ振興の基本方策を検討するために、早急な審議会の設置が必要であります。

問 審議会の任務は。

答 教育委員会の諮問に応じて、北谷町のスポーツ振興に関する重要事項を調査審議し、答申及び建議する。

問 委員の定数と構成は。

答 定数は10人以内とし、スポーツに関する学識経験者、関係行政機関の職員。



美浜地区の建物制限に関する条例

一部を 改正

答 都市計画審議会等の決定等諸手続きをして条例を改正すれば弾力的に制限については可能。

問 今後美浜地区、建築物等の変遷等による規制の緩和、あるいは、変更は可能か。

答 将来において公共駐車場として整備管理するため、土地利用計画、及び町条例でその位置付けを明確にし、建築物等の制約を行うことで地域の発展と交通渋滞対策解決を図るため。

問 なぜ町の所有する駐車場を条例で規制する必要があるのか。



第二種感染症指定医療機関 県立中部病院を指定

全国規模で発生した腸管出血性大腸菌O157を契機に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が制定施行されたことにより、県立中部病院が、第二種感染症医療機関として指定されました。それを受け、中部広域市町村圏事務組合伝染病隔離病舎が廃止されました。

平成
11年度

老人保健特別会計補正予算

1472万6千円を追加

専決処分を承認

問 なぜ、先決処分となったのか

答 平成十年度の会計年度経過後に至って、歳入が歳出に對し不足が生じ、地方自治法施行令第六十条の二により翌年度歳入の繰上充用を行うものである。要因は、支払い基金交付金並びに国・県負担金等の一部の交付が出納閉鎖までに収入出来なかったため。

問 不足額の要因は?

答 老人医療費は予測しがたく、補助金申請時の見込額の医療費が増加したことによる。増加した医療費分にかかる補助金は、翌年度に確実に収入される。

浜川漁港改修事業における公有水面埋立免許の意見に関する議決について

浜川漁港改修事業・公有水面埋立免許出願



浜川漁港は地元沿岸漁業の根拠港及び休憩港でありながら、荒天時には港内の静穏度が著しく悪く、全漁船の陸揚げを余儀なくされており、また船揚場延長も不足していることから防波堤、波徐堤及び40mの船揚場を第9次漁港整備計画の一環として整備するためであります。

- 1, 出願人の住所及び名称
所在地：北谷町桑江226番地
名称：北谷町
- 2, 埋め立て区域
北谷町港1番地及び2番地の地先公有水面
- 3, 埋め立て面積
3,212.05m
- 4, 埋め立て地の用途
漁港施設用地
- 5, 工事の施工期間
平成11年10月から
平成13年1月まで



国民健康保険特別会計補正予算

1億3578万8千円を追加 総額22億1641万6千円

原案 可決

今回の補正予算については所得及び固定資産税額の確定に伴い、既決予算の再検討をしたところ、歳入においては、当初予算に比べ、1億9524万3千円の減、(一般被保険者分の保険税)歳出においては、当初予算に比べ、1億4390万5千円の増(老人保健拠出金が前々年度の生産金が増加)となる。しかし、今回の財源不足は一過性のものと受け止め、その不足財源を一般会計から繰り入れし、被保険者の負担の軽減を図っております。

現行(税率)	改正案(税率)
所得割 100分の82	所得割 100分の82
資産割 100分の35	資産割 100分の30
被保険者均等割	被保険者均等割
八〇〇〇円	七割減二〇,〇〇〇円
六割減一〇,八〇〇円	五割減四,〇〇〇円
四割減七,二〇〇円	二割減四,〇〇〇円
世帯別平等割	世帯別平等割
二五〇〇〇円	七割減二五,〇〇〇円
六割減五,〇〇〇円	五割減七,五〇〇円
四割減一〇,〇〇〇円	二割減三,五〇〇円
	五,〇〇〇円

町国民健康保険条例の一部を改正する条例

今回の条例の改正は、老人保健拠出金及び医療費の増等に鑑み、国民健康保険財政の安定化を図るため、応能割額と応益割額の平準化に向けて保険料の税率及び減額賦課基準額を改めるためのものであります。また、国民健康保険法施行令の一部改正により、超短期所有土地の譲渡等に係る事業所得等に係る課税の特例の廃止に伴い、当該所得に係る保険料の賦課に関し、規定の整備を行う必要があるためであります。今回の改正によって、7割、5割、2割の減額措置がとられることとなりますが、所得高によって一一〇〇余の世帯は対象外になります。

塵芥処理車購入

現在稼働しているごみ収集車が老朽化したために、代替車を購入するものです。

塵芥処理車(4トン車級)

価格	931万5千円
総排気量	6,926cc
最大積載量	2,500kg
車両総重量	7,980kg
積載容量	8.0m ³
積込方式	回転板式押込型
排出方式	ダンプ式

一般質問

大嶺 勇

1 道路行政について
2 給料二重払いではないかと指摘された問題について

問 新設予定の県道二十四号線バイパスと桑江中央線を結ぶ町道は、いつ頃を完成の目処としているか。地権者の理解と、協力は得られそうか。そのための取り組みはどのようなものになっているか。

答 桑江中央線、新庁舎へ進入する約三百四十メートルについては、地籍未確定の問題、一部地権者の同意が得られず対策に苦慮している。解決策については、鋭意協議を進め努力をしていきたい。桑江中央線については、あとしばらくの時間を要する。それと県道二十四号線バイパスの路線ルート決定によって、桑江中央線からの取り付け箇所の見直しの検討が余儀なくされるため、現在県道二十四号線バイパスルート決定を待つ状況である。県の計画としては、平成十一年度中に関係機関と調整を進め素案作成をしていき、路線ルート

決定を目指しているが、都市計画の決定手続きを行う平成十三年度の桑江北側部分返還と併せて、事業の計画を推進する予定である。

問 給料の二重払いではないかと指摘された問題は、その後どうなっているか。

答 正規の勤務時間中に一般職の職員が選挙管理委員会の委員として勤務した時間に対応する給与については、北谷町職員の給与に関する条例及び地方自治法の規定に基づき、平成十年度的出納閉鎖期間中に適正に減額措置をした。また、一般職の職員が選挙管理委員会の委員を兼ねたことによる給与と報酬は、勤務の対価として支払うべきであり、平成八年四月一日以降、支払いが停止されていた当該委員への未払い分の報酬についても、適正に支給した。

泉 朝秀

1 県道二十四号線バイパスについて
2 教育行政について
3 建築物の構造について



桑江中学校教室周辺の地盤沈下

問 県道二十四号線バイパスの進捗状況は。新しいルートの位置の案としては、伊平地域、役場庁舎の横を通り北中城村のライカム交差点付近迄予定している。全長は約三・一キロ、幅員三十メートル、四車線道路を県は計画している。タツチンク箇所は謝荊公園東側付近、ポリテクセンター入り口付近、旧謝荊一区公民館近辺、謝荊中央線、(サチジョウ付近)が予定されている。平成十一年度中に素案を作成し、国、県含め協議を進め、早い時期に地域、地権者に説明会を行いたい。

問 桑江中の教室の周辺、又テニスコートの使用不能、対策はどうするか。

答 コンクリートの充填、補修を行い、側溝蓋の破損部分の取り替え設置を検討していく。テニスコートは基本的に学校で維持管理すべきと考えているが、学校現場で対応できない場合は、学校長の要請があれば検討していく。白アリ発生については駆除を行っている。

問 北谷中グラウンドかし車を破損させている。対策はどうなっているか。

答 関係課と予算要望等を調整しているが、財政が厳しく後回しになっている。
問 心の相談員の勤務日数が週四日間から短縮されることだが。
答 文部省からの指示で平成十一年度より週三日と方針が示され、県からの委託金も減額配当になった。本町は、町独自の教育相談員を五月一日より増員している。
問 北谷第二小、幼稚園のハブ対策は。
答 管理公社やPTA活動において草刈り作業をおこなっている。
問 学校の教材備品の充足率はどうか。
答 各学校の規模、特色等を勘案し、学校独自に設定するものであり、充足率が出せない状況である。
問 各学校の男女教員の構成比率は。
答 小学校の平均は男子九・四％、中学校は、男子五・二％、女子四十八％、となっている。
問 吉原在の住宅で隣接で塀が建てられていて、建築基準法に抵触しないか。
答 建築基準法には抵触しない。

洲鎌長榮

- 1 行財政サービスの向上について
- 2 サミット開催に伴う取組みについて
- 3 トライアスロン開催について
- 4 美浜地域への交番誘致について
- 5 ハンビー地域の公共駐車場整備について

問 町への諸申請時(例、保育園入所申込み時)の添付書類を省略化して住民サービスの向上を図れないか。

答 行政情報の電子化と総合的利用及び事務事業のシステム化、ネットワーク化等を推進中であり、行政運営上特別に支障がないものは、添付書類の簡素省略化等を含め行政改革実施計画の策定で全庁的に検討させたい。



シーボートカーニバルトライアスロン大会

問 沖縄サミット開催を当町広報の好機と捉え、(イギリス)首脳又はトップレイダーを当町に招集して町民と交流をしたらどうか。

答 イギリスの船が一八四〇年に北谷町の海岸で坐礁し、船員の救助、船の修理など、手厚い持て成しをして英国に帰還させた事実が町史に掲載されている。あらゆる面から検討したい。

問 トライアスロンの開催方法等について今後改善すべき点はないか。

答 沖縄県の体育協会に加盟が承認され次第、沖縄県教育庁にも後援依頼を展開する。また、今後県外大会からの招待等、交流大会の充実を検討する。競技会場の本町西海岸域における商業活動の活性化が著しいことから、地域住民及び集客される顧客の交通渋滞を緩和する必要がある。

問 アメリカンビレッジ事業、整備拡充と合わせて交番所の設置を関係機関に要請したらどうか。

答 北谷町PTA連合会及び宮城区自治会からの交番誘致についての陳情を受けた。町も防犯、交通安全対策の面から沖縄警察署に申し渡す。平成十一年五月二十五日付けで文書を持って要請を行った。今後とも実現に向けて要請活動を継続したい。

伊集守明

- 1 道路行政について
- 2 教育行政について

問 各町道に長時間駐車が見受けられるが、その対策と取組み、又町民への行政指導はどのようになされているか。

答 無秩序な違法駐車は排除し、道路交通の安全と円滑を確保するために広報活動を通して啓蒙を行う。又警察当局に対し特に危険性、迷惑性の高い違法駐車車両の指導取締の強化を要請。町消防本部においては、火災警戒防止パトロールを行い放置物件の指導として、町内道路を午後六時から九時までの間パトロールし、広報啓発活動を実施、沿道住民を重点対象に積極的な広報活動を行っている。

問 当該土地の要望については、平成十一年六月十一日に沖縄県の管財課へ出向いた。沖縄県管財課において競争入札による土地売却が計画されている状況があり、今後競争入札の経過や県管財課への動向も踏まえながら、当該土地の取得について引き続き検討したい。

問 県道二四号線、謝苺交差点の三車線を四車線にするのが交通安全上好ましいと思うが中部土木事務所との話し合いは怎么样了。又、左折、直進、右折等の安全面でも早急な取り組みが事故等の未然防止にもなると思うが。

答 謝苺交差点については、道路管理者である中部土木事務所に要請を行っている。又、左折、直進、右折等の四車線を確保するには、幅員に要する用地取得及び物件補償等の問題や国道にかかる歩道橋の移設等の問題があり、県はその改良工事の方法について検討をしている。町としては関係機関と引



謝苺入口交差点

問 夏休みを前に児童生活指導の計画と取り組みはどのようになっているか。

答 夏休みの過ごし方、夏休み明けの過ごし方、学級懇談会において保護者説明会で協力を求め、更には園児児童生徒への学級指導の徹底、各学校のPTAの生活委員会を中心に街頭指導や、地域懇談会等も予定されている。取り組みとしては、町全体としては二回の全国一斉交通安全とあいさつ運動の実施、各学校においては、毎朝のあいさつ運動とタイアップして交通安全指導を継続、特に小学校では日常的に保護者の協力を得て取り組まれている。今年度は北玉小学校が交通安全指導優良校として沖縄署より表彰の予定。

中村重一

- 1 ガイドライン(周辺事態法)への町の対応について
- 2 学童保育の設置について
- 3 乳幼児医療費助成制度の改善について
- 4 謝苺入り口交差点と、白比川の改良について
- 5 事業の民間委託計画について

問 新ガイドライン法が強行採決されたが、戦争協力を拒否することが町民の生命、財産を守ることになると考えるが町長の所見を伺いたい。

答 行政の長として後方支援と言えども町民を紛争に巻き込む行為は協力出来ない。第九条の条項は権限の及ぶ範囲で反対していく。当該法律の解説書が配布されるのでその内容を検討し対応していく。

問 幼稚園や小学校低学年児童の健全育成、放課後の対策のためにも、学童保育の設置(たとえば児童館に)が必要だと考えるがこれを実施する考えはないか。

答 当該事業は、平成十年四月一日から新たに法制化された事業であり町としては、当該事業の内容や運営方法等について今後調査検討していきたい。

問 現在、ゼロ歳児については医療費助成が行われているが、助成の方式は

問 助成対象者がいったん病院窓口等で医療費を支払ったのち、町で領収書と引き換えに医療費を還元する償還払い方式となっている。これを現物給付にすることで制度がより生かされると考えるが、その計画はないか。

答 地区医師会や個別医療機関としての調整を考えると一自治団体での実施は困難であり近隣市町村、県の動向を見守って検討したい。

問 謝苺入り口について、交通安全対策のためにも改良が必要だと考えるが、関係機関と交渉するつもりはないか。白比川は大雨のときなどは危険な状況があるが県などに対し強く改良を求めたい考えはないか。

答 同交差点については、町として改良を進め、六月十七日中部土木事務所と混雑度調査及び改良に伴う諸問題等、整備方法を検討している。白比川の改修については、これまで沖縄県河

阿波根弘

- 1 シーボート北谷トロピカルトライアスロンについて
- 2 桑江区老人会のゲートボール場について
- 3 町青年連合会結成について
- 4 ハブ被害対策について
- 5 町民盆踊りの夕べについて

問 トライアスロンの開催目的、参加状況、予算、又運営上の問題点はないか。

答 健全な青少年の育成とイベントを通じ地域住民の連帯意識の高揚を図ると共に北谷町の持つ人的、地理的、地域的特性を活かした魅力あるイベントとして定着を図ることによって地域活性化に資することを目的に開催。八回大会では、四九九名町内選手二七名参加町内生徒の参加数が減少傾向。予算額は、約一千八拾万円、町補助六百万円、琉球放送五拾万円、沖縄県金融協会三拾万円、沖縄輪業協会の協賛が主な歳入。大会の運営がスムーズに展開できるよう諸施策の改善を

問 委託することによって経費が軽減され効率的に行政執行ができるもの、受託者の処理体制がある事業等を選定し民間委託を検討していきたい。

問 委託する考えをもっているか。委託することによって経費が軽減され効率的に行政執行ができるもの、受託者の処理体制がある事業等を選定し民間委託を検討していきたい。

答 謝苺交差点については、道路管理者である中部土木事務所に要請を行っている。又、左折、直進、右折等の四車線を確保するには、幅員に要する用地取得及び物件補償等の問題や国道にかかる歩道橋の移設等の問題があり、県はその改良工事の方法について検討をしている。町としては関係機関と引

問 桑江区に老人会のゲートボール場がないが、今後の対策は。

答 現在、老人福祉センターあしびな一に二面整備してあるゲートボール場を活用している状況。今後は、機会を捉えて関係課と協議したい。

問 町青年連合会結成の進捗状況、予算の状況、活動事務所の確保はどうなっているか。

答 六月二十六日結成総会がある旨報告を受けている。予算は、三十万円

問 町民盆踊りへの参加状況と予算額、そして、今後の見直しは。

答 例年、二千四百人から五百人程度、予算額は、総額で百九拾三万九千円、内訳として花火百万円、ヤグラ設備費三拾万円、電気配線料約四万円、その他消耗品等。今後多くの町民が参加できるように呼びかけ、練習方法等も検討し継続していきたい。



町青年連合会結成

亀谷長久

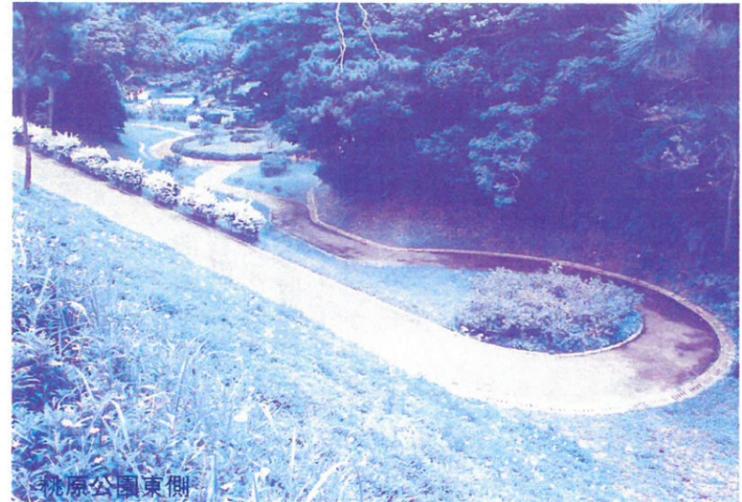
- 1 平和行政施策について
- 2 地域の教育力について
- 3 桃原公園東側地域の活用状況について

問 今後の北谷町の平和推進事業を積極的に展開していく必要があると思うが。

答 人間の心の問題と、戦争の悲惨な体験を後世に正しく伝えていく啓発活動が重要と認識し、今後ともこのような基本認識に立って平和推進事業に取り組んでい

く。具体的には、平和行政推進委員会を設置し、平和行政に関する協議・調整する。事業実施主体を含め平和行政全般について検討を進める。

問 平和推進事業は、課を独立させるか、あるいは企画課に平和推進係を新設して、平和推進事業の積極的な展開を図るべきと思うが。



答 平和行政の所管については、基地対策課における返還跡地利用業務等の推移を見ながら必要であれば機構改革の見直しの際に対応していきたい。

問 青少年を育む家庭、地域、学校が一体となつて、子どもたちの心の絆を築き上げ、同時に子どもたちに夢と希望と自信を準備すべきと考

えるが。

答 単に人々の地縁的な結びつきによる活動だけでなく、同じ目的や、趣味・関心によって結びついた人々の活動が活発に展開され、子ども達を育む場となつていかなければならない。地域の人々のニーズを的確に把握し、いかに地域社会の活動を活発にするかという視点で、活動の場や、機会の提供、各種団体への支援、指導者の養成、情報提供など基礎整備に重点をおいて、施策を進めていく必要がある。

問 北谷町生涯学習支援センターの建設も本格化した。生涯学習推進体制の確立のための準備に入る時期と思うが。

答 生涯学習関連事業を所管する関係部局との連携も密になら、生涯学習推進体制の整備検討及び民間の教育、文化、スポーツ等の振興に努めていきたい。

問 桃原公園東側地域の公園は、ほとんど活用されていない感がある。利用しやすい公園にするために、その改善策は。

答 自然環境の緑を保全し公園として気軽に利用して頂けるよう、地域の意見、要望等も参考にしながら、必要な改善策を考えたい。

稲嶺盛仁

- 1 通学バス（通称北前バス）の存続について

問 これまでの答弁では、「北前バスは平成十二年三月まで運行して、その後は配置をしない」との方針を述べられておりますが、北前バスのこれまでの経緯と現在おかれた北前地域の状況、そして何よりも子どもたちの安全性を考えた場合、何らかの方法で北前バスを存続させることを検討すべきと考えますが。

答 今日まで、北前地域からの通学バスの運行については、陸運事務所から有償運送の許可を受け、大型バスを所有する個人の方からバスをお借りして通学バスの業務委託を契約し、運行してきた。有償運送の許可は、平成十二年七月までとなつており、民間バス会社の既存路線との関係上、今後引き続き許可申請することは厳しい状況であることから、現在の個人との業務委託契約が終了する時点で、通学バスは配置しないと答弁してきた。その後、この件について北玉小学校の子供議会での質問を通じての要望、議会でも数名の議員からの質問もあった。北前地域出身の議員



活用されている北前通学バス

その他多くの北前区民の方から通学バス存続要請のために教育委員会へ足を運ばれている。北前区自治会長からも区民を代表した文書による存続の要請も受けている。北前からの通学バスの運行が存続できるよう関係機関とも調整しながら、前向きに検討していきたい。

大浜ヤス子

- 1 児童館建設について
- 2 児童館の運営体制について
- 3 各自治公民館の遊具等について
- 4 学校施設体育館使用料について

問 浜川校区の児童館建設予定地は、象さん公園と呼ばれ地域の子供達に人気があり愛着のある公園ですがその遊具等を残せないか。

答 建設用地の有効利用と施設の安全管理面から考えて、現在ある遊具は撤去しなければならず建物用地以外の広場整備の中で子供達に親しまれる遊具を選定していきたい。

問 地域の私立保育園には運動施設がなくマッ ト運動やリトミック等の指導が大変難しい状況ですが、児童館施設において私立保育園

答 浜川校区の児童館建設予定地は、象さん公園と呼ばれ地域の子供達に人気があり愛着のある公園ですがその遊具等を残せないか。

答 私立保育園という特定施設の活用ではなく、児童館の設置目的に沿って活用を図っていききたい。

問 児童館の職員採用についてどのようになっているか。

答 児童館の職員採用に



学校施設体育館

問 児童館の職員採用についてどのようになっているか。

答 児童館の職員採用に



テンニン花



野ポタン

問 児童館の職員採用についてどのようになっているか。

答 児童館の職員採用に

意見書

可決

6月議会

30人以下学級の早期実現を求める意見書

(概要)

現代の教育問題を解決するためには、教師がゆとりを持ってどの子にも目配り気配りができるような学級運営が求められています。そのためにも、現状の40人学級を30人以下学級にしていくことは、緊急かつ最も重要な課題になっています。

基礎的、基本的な学力を身につけさせ、子どもたちの疑問にこたえるためにも、1日も早く30人学級を実現させることを強く求めます。

あて先 内閣総理大臣 文部大臣 大蔵大臣

トピックス

新職員研修会で議会傍聴

モニターと実際に見るのでは、議会に対するイメージが全然違う。

勉強量の多さに驚きと感動がありました。

声が聞きにくかったり、難しい言葉が出た。わかりやすくしていただくと、より、良いと思います。

「開かれた行政」を築いていくという、民主主義の姿を見たような気がしました。

見近なことを議論しているのに、気づき、温かさや親近感を抱きました。

歓迎
議会傍聴

- 一、会期日程及び一般質問通告書を各区公民館に配布する。
- 二、傍聴人に議案の概要書を配布する。
- 三、「二声箱」の設置
- 四、議会図書室を町民に開放する。
- 五、一般質問のビデオテープを自治会に貸し出す。
- 六、青年議会、女性議会、子供議会を推進する。

(亀谷長久)

少年の深夜はいかい防止

宣言決議 (概要)

北谷町議会は、少年の深夜はいかいをしない、させないための社会環境の改善を図り、少年がより良い生活環境のもとに心身共に健全に育成されるよう、次のことを町民総ぐるみで強力に推進することを宣言する。

- 一、少年の深夜はいかい防止運動を推進しよう
- 一、少年が心身ともにたくましく健やかに育まれる社会環境づくりを推進しよう
- 一、少年の社会参加活動や世代間交流を推進しよう
- 一、「愛の一声」運動を展開しよう
- 一、安全で平穏な町づくりを推進しよう

編集後記

議会広報特別委員会では、「議会だより」が、できるだけ早く、解りやすく、的確に、議会の様子を町民にお知らせすることをその使命としておりますが、会期中の様子をくまなく限られた紙面の中に表現するためいろいろと苦慮しているところであり、ますます「愛読頂いている町民の皆様へ更なるご指導、ご鞭撻を賜わりたいと思います。」

町議会では、町民に「開かれた議会」を目指して次の六つのことを推進しております。町民の皆様と議会の連携を図る上で活用して頂きたいと願っております。